

「IPネットワーク管理・人材研究会」

システム管理の課題と技術者育成における考え方

平成20年4月22日

KDDI株式会社

目次

- I. 電気通信設備の設計・管理手法の変化に伴う課題
- II. 新たな技術やリスク管理に対応した技術者育成の在り方
- III. 参考資料

I. 電気通信設備の設計・管理手法の変化に伴う課題

1. 変化に伴う資格試験の問題意識

現行の電気通信主任技術者試験の試験科目「専門的能力」の専門分野「交換」、「データ通信」において、「IPネットワーク交換技術」、「バックボーンネットワーク技術」にIP関係が含まれていることから、現状問題はない。設備についても、一時にIP系に切り替えられるものではなく、レガシー系設備とIP系設備との共存期間が長く存在する。したがって、電気通信主任技術者試験の既存の専門分野の試験科目として、IP系を強化することが適当である。

2. IP技術者の育成状況

IP技術は多岐に渡り適用されているので、自社運用設備とのリンクを取りながら、IP技術者研修を実施。(IP技術をベースに最大22コースのプログラムを準備。)

3. 電気通信主任技術者のスキル要件

設備を管理する技術者に求められるスキルは、当該設備の種類によって決まるものであり、レガシー系設備との新旧混在型のネットワークの管理に即したスキルも必要である。

Ⅱ. 新たな技術やリスク管理に対応した技術者育成の在り方

1. 総合的な技術者育成の取組み

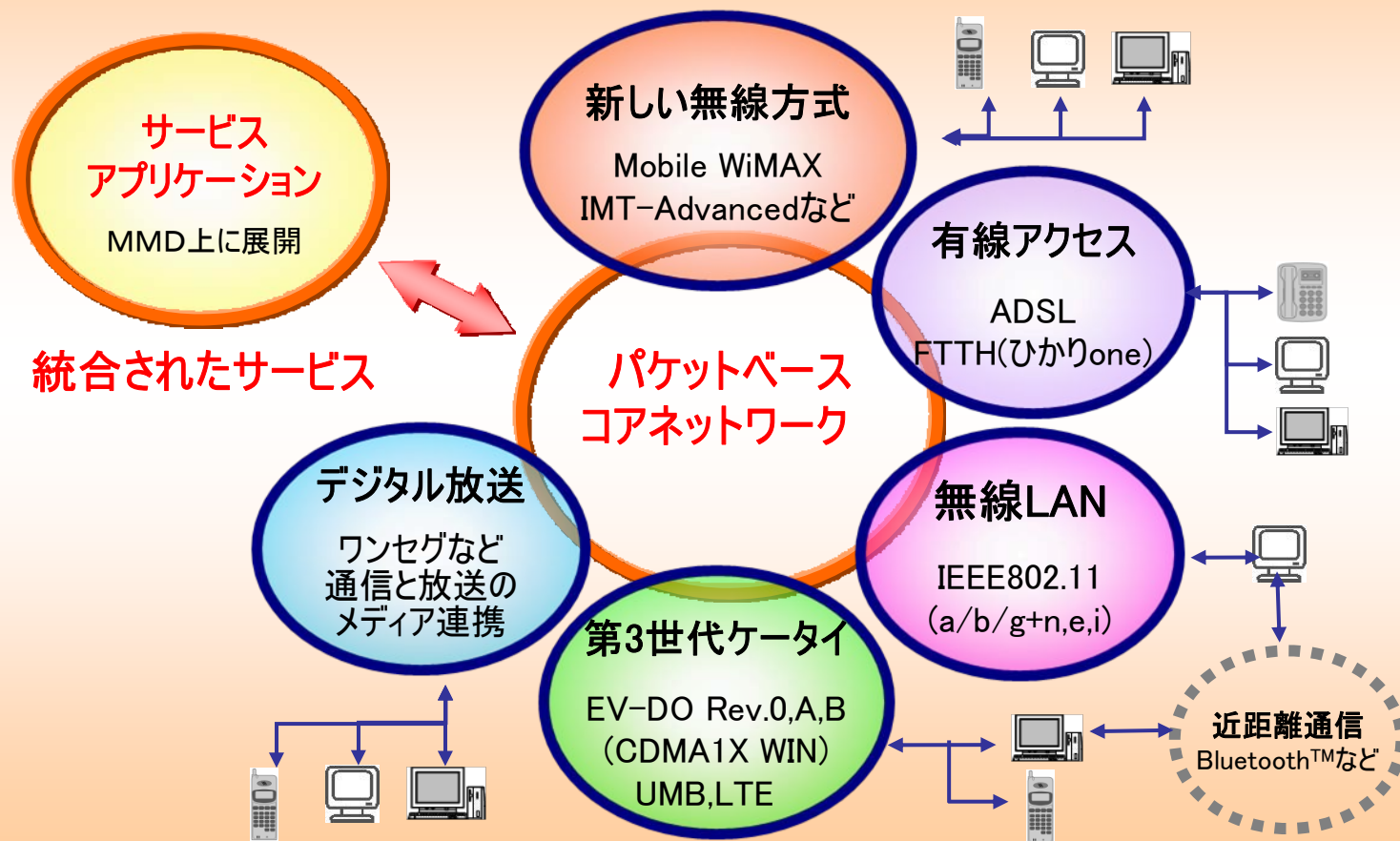
高度化・多様化するサイバー攻撃に対し、当社の情報資産の流出・改ざんの防止、主要サービスへの影響回避を図ることを目的に、2005年10月にセキュリティオペレーションセンター設置し、社内関係部門、社外機関と連携することにより、セキュリティ業務を24時間365日体制で実施している。IP網の信頼性確保については、FMC型の新サービスへの対応を考慮した組織改変、人材育成を進めている。

2. 企業内の育成が不可欠

新たなサービスを高品質、高安定にお客様に提供するために、社内に技術スキル・ノウハウを蓄積し、より高めることが重要である。そのため、設備の維持・運用及び運用部門－技術部門間の人事ローテーションの実施等によるノウハウの蓄積に努めるとともに、開発ベンダーの協力も得て、技術者育成のための社内教育・研修を実施している。

Ⅲ. 参考資料1

1. IP化するネットワーク



Ⅲ. 参考資料2

2. 運用部門組織図

運用統括本部

設備運用本部

- 運用企画部 電気通信主任技術者
- 運用管理部 電気通信主任技術者
- ネットワークオペレーションセンター 電気通信主任技術者
- FMBCオペレーションセンター
 - サーバーオペレーションセンター 電気通信主任技術者
 - モバイルオペレーションセンター 電気通信主任技術者
- セキュリティオペレーションセンター 電気通信主任技術者
- 情報管理センター
- 線路システム部 電気通信主任技術者
- 施設建設部 電気通信主任技術者

サービス運用本部

- 品質管理部
- テクニカルサービスセンター 電気通信主任技術者
- 設計開通センター 電気通信主任技術者
- 国際サービス運用センター 電気通信主任技術者
- ICTソリューション運用センター 電気通信主任技術者
- 設計開通センター 電気通信主任技術者

Ⅲ. 参考資料3

3. 取得推奨資格及び研修

1 当社が取得を推奨している主な資格

(1) 電気通信関係

- ① 電気主任技術者(第3～1種)
- ② 電気通信主任技術者(線路/伝送交換)
- ③ 無線技術士/通信士(各種)
- ④ 工事担任者(アナログ、デジタル、総合種等)

(2) IT技術国家資格

- ① 情報処理技術者(各アドミニストレータ等、各テクニカルエンジニア等他)
- ② 技術士

(3) ITベンダー資格

- ① CISCO社認定各種資格(CCNA、CCDA、CCIE等)
- ② MicroSoft社認定各種資格(MCP、MCSE、MCDST等)
- ③ Oracle社認定各種資格(OracleMaster(Silver、Platinum等))
- ④ SunMicroSystems社認定各種資格(Java、Solalis等)

2 当社が実施している主な研修

- ① IP・Ether・NW関連研修
- ② 伝送関連研修
- ③ 無線関連研修
- ④ 電力・空調・局舎関連研修
- ⑤ 交換関連研修
- ⑥ 電波法関連研修

Designing The Future

